

# 平成 30 年度新里デイサービスセンター事業報告書

新里デイサービスセンターは、利用者の意思及び人格を尊重し、かつ、その方の状態に応じ必要な生活支援（入浴、排せつ、食事等の介護）及び機能訓練等の通所介護サービスを実施しました。そのことを通して、利用者においては心身機能の維持増進や生きがいと喜びのある生活習慣の持続を、また、家族等の介護者にとっては在宅介護における身体的・精神的な軽減が図れることを目指して取り組みました。

## 1 事業の概況

### (1) 事業種類

指定通所介護事業

介護予防・生活支援サービス事業（国基準通所型サービス）

### (2) 事業規模

通所介護：定員 25 名

## 2 事業の実施状況

### (1) 生活支援

#### ① 食事

利用者を楽しんで食事をしてもらうための雰囲気作りに配慮し、栄養バランスと個別の状態に応じた食事内容の提供に努めました。また、食事における飲み込む機能の維持、向上にむけた取り組みとしては食事前の口腔体操を実施しました。

#### ② 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対しては必要に応じた介助を行い、また、着替え等の衣類や持ち物に配慮し、気持ちよく入浴ができるよう努めました。なお、入浴の前には健康状態の確認や観察を行って身体への配慮を徹底しました。

#### ③ 行事・余暇活動

サービス提供時間を楽しく過ごしてもらうため、昼食後には余暇活動を実施しました。活動の内容としては、趣味的なことからリハビリ体操や創作活動など、日常生活動作の機能維持が図られるように工夫しました。また、季節ごとの主な行事として、春には花見、秋には紅葉を楽しむドライブで外出する機会をもち、他に運動会、敬老会、忘新年会の企画行事では職員の余興等を披露して楽しんでもらいました。

月	行事・余暇活動概要	月	行事・余暇活動概要
4月	姿勢・バランスの改善トレーニング、踊操、ロケットボーリング、風船橋渡しリレー、ビニール槍投げゲーム、お掃除リレー、ジャンケン風船割りゲーム、花見ドライブ	10月	ADL・IADLの維持・向上トレーニング「入浴動作」、踊操、サイコロゲーム、おいしいもの食べようゲーム、銭形平次ゲーム、スリッパジャンケン
5月	洗体動作の体操、踊操、ストラックアウトゲーム、たまご早詰めゲーム、ゲーゴールゲーム、デイサービス大運動会	11月	ADL・IADLの維持・向上トレーニング「入浴動作」、踊操、コロコロ脱出ゲーム、タオルでポンゲーム、じゃんけん風船割りゲーム、テーブルカーリング

6月	ADL・IADLの維持・向上トレーニング「食事動作」、「追い出せ」風船ゲーム、傘で輪投げゲーム、勝ちあがれジャンケンゲーム、風船玉投げゲーム	12月	ADL・IADLの維持・向上トレーニング「掃除動作」、踊操、ピンポンコロコロゲーム、新聞バスケット、ゲーボールゲーム、プレゼント運び競争
7月	ADL・IADLの維持・向上トレーニング「移乗動作」、踊操、たこ釣りゲーム、いかだレース、ビリヤード風玉ころがし、スリッパじゃんけんゲーム	1月	ADL・IADLの維持・向上トレーニング「風邪予防」、踊操、ストラックアウトゲーム、銭形平次ゲーム、玉入れビンゴゲーム、新年会
8月	ADL・IADLの維持・向上トレーニング「整容動作」、踊操、新聞ボールリレー、タオルでポンゲーム、ピンポンコロコロゲーム、お掃除リレー	2月	ADL・IADL改善体操「体力・活力増進」、踊操、鬼退治ゲーム、風船飛ばしゲーム、倒さないでボーリング、いかだレース
9月	ADL・IADLの維持・向上トレーニング「トイレの動作」、踊操、ストラックアウトゲーム、輪投げゲーム、新聞バスケットゲーム、敬老会	3月	ADL・IADL改善体操「風邪予防」、踊操、ボール物送りゲーム、魚釣りゲーム、ストラックアウトゲーム、ペットボトルボーリング

## (2) 送迎体制

利用者の送迎においては、体調確認やシートベルトの着用を徹底し、一人ひとりの安全の確保を徹底しました。また、毎日の運行前点検、交通法規の遵守並びに安全運転の励行を徹底しました。

## (3) 健康管理・安全への配慮

事業所への到着後には、利用者の健康チェック（体温・血圧測定、体調や服薬の確認）を行い、日々の健康管理について家族や介護者との連携をもって取り組みました。皮膚処置や医療的なケアを必要とされる方に対しては、入浴時等の処置や要観察、ケア計画に基づく対応をもって進めました。また、事業所内での転倒防止等、事故へのリスクを軽減するため、職員間の連携や見守りへの配慮を常に心掛けました。

## (4) 会議

サービスと業務の内容の見直し及び改善を図るため、定期的な所内会議をもって検証し、その検討内容の実行に努めました。また、ケース会議をもって利用者の状態把握とニーズを分析し、その方に必要とされる支援のあり方を検討しました。

## (5) 職員研修

法人内で実施される職員勉強会への参加、外部への研修会に参加して職員の資質向上とスキルアップを目指しました。

実施日	職員研修概要
6月7日	[内部] 第1回スキルアップ勉強会「認知症と対人援助」「身体拘束廃止について」
6月21日	[外部] 職員研修会（アンガーマネジメント）職員2名派遣
6月26日	[外部] 社会福祉従事者等専門研修 職員1名派遣
7月26日	[内部] 第2回スキルアップ勉強会「感染症・食中毒について」
9月13、14日	[外部] 東北ブロック老人福祉施設研究会 職員1名派遣
9月27日	[内部] 第3回スキルアップ勉強会「健康管理・健康づくりについて」
10月2日	[外部] 感染症予防研修会 職員1名派遣
11月22日	[内部] 第4回スキルアップ勉強会「災害派遣報告」「感染症と吐物の処理について」
12月4日	[外部] 老人デイサービスセンター部会研修会 職員1名派遣

12月4、6、11日	[内部] 法人全体研修 「階層別研修」
2月5日	[外部] 宮古圏域老人福祉施設等職員研修会 職員1名派遣
2月9日	[外部] 災害・倫理研修会 職員1名派遣
3月14日	[内部] 第5回スキルアップ勉強会「KYT 訓練、緊急時の対応について」

(6) 衛生管理

定期的な浴槽の水質検査、空間の除菌・脱臭のためのくん蒸消毒を実施し、また、業者に依頼している衛生害虫駆除を行って事業所内の感染症対策、衛生管理に日々取り組みました。

(7) 防災対策

防災対策として、火災発生を想定した避難訓練を併設施設である紫桐苑と合同で実施し、有事における職員の対応と利用者の避難誘導等の訓練を行いました。

実施日	避難訓練概要
8月21日	第1回自衛消防避難訓練(火災想定) 宮古消防署新里分署立会い
11月16日	第2回自衛消防避難訓練(火災想定) 宮古消防署新里分署立会い

(8) 地域交流

紫桐苑と合同で実施した新里保育所との定期交流会や新里中学校の職業体験受入れを通じて、世代間の交流を図ることができました。また、デイサービス・紫桐苑・桐の花で実施する諸行事を通じて、顔なじみの関係だった方々の交流がもてるよう事業所間で連携して取り組みました。

3 利用者の状況

(1) 登録者の状況

① 年齢状況

	~64歳	65歳~69歳	70歳~74歳	75歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~	計
男	1	1	2	2	1	5	4	16
女	0	2	0	1	14	12	21	50
計	1	3	2	3	15	17	25	66
男性：最高96歳 最低63歳 女性：最高99歳 最低68歳 全体平均：86.2歳								

② 介護度区分状況

	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	2	1	1	2	7	1	1	1	16
女	2	1	3	13	20	5	4	2	50
計	4	2	4	15	27	6	5	3	66

③ 地域別利用状況

茂市;11名(17%) 暮目;17名(26%) 腹帯;3名(4%) 刈屋;17名(26%) 和井内;18名(27%)

(2) 利用者数

① 通所介護(実施日数:296日)

年間延べ利用者数	4,447名
1日平均利用者数	15.0名

② 国基準型通所サービス(実施日数:159日)

年間延べ利用者数	263名
1日平均利用者数	1.6名